

レマックリバイバルプラン
Lamac Revival
中期3ヶ年経営計画書 2022

TOHO LAMAC CO.,LTD

レマック

リバイバルプラン

中期3ヶ年経営計画書

2022

1. どんな人でも楽しめる商品の開発

-商品による感動体験、新しい日常への発案、ブランド絞り込みと強化

2. 攻めの物流、独立した物流

-よりスピーディー、正確無比なロジスティクス、商品の単品管理

3. Zero× Zeroプロジェクト

-不良品も廃棄もゼロに

4. サステナブルな企業へ

-サステナブルな素材や、売るだけじゃない循環型サービスの実現

5. 異業界への挑戦

-異業種への進出、他社との協業

6. グローバル&インクルージョン

-社員の多様性を尊重した人材育成、チャレンジする企業風土

1. どんな人でも楽しめる商品の開発

-商品による感動体験、新しい日常への発案、ブランド絞り込みと強化

□ ライフスタイルのカジュアル化にそった重点強化ブランド

ジェンダーレス、シーズンレス、キッズ、ジュニアも視野に入れながらファミリー提案も

□ どんな人でも楽しめる多様性に対応したブランド

様々なライフシーンによりそったブランド

重点強化ブランド



2021年実績



2024年目標



2. 攻めの物流、独立した物流

-よりスピーディー、正確無比なロジスティクス

- 海外の検品所から直接取引先もしくはは運送会社に商品の引き渡してスピードUPとコストを削減
- 直流で社内の作業が減った分現在外部に一部委託している出荷業務を社内で行いコストを削減



- 紳士、婦人の同梱包による作業効率化と配送料の削減へ
- 在庫の見える化を進め滞留在庫の早期販売に注力

3. Zero× Zeroプロジェクト

-不良品も廃棄もゼロに

□海外での品質管理を業務完全委託

不良品を日本に入れないことを前提に、現地での検品の強化（ローカル化）→日本からの出張ベースなどの検品などは削減し、検品体制の業務フローを見直し、現地での検品員の増員や高品質商品が作れる工場の選定など、日本に不良品が入ってこない体制づくりを構築。

□発想を転換し売る工夫を

多少の傷や汚れ等で返品になった商品は社内で仕上げ直しをして、期間限定ショップの出店やファミリーセール等で直接お客様への販売や、二次流通市場への販売で将来的には廃棄率ゼロを目標に取り組みます。

現地での検品の強化



業務フロー見直し



検品員の増員

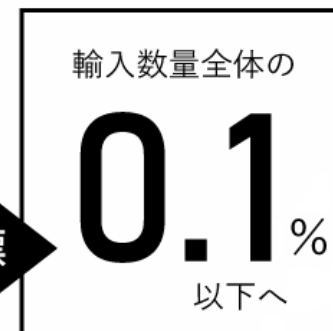


工場の選定厳密化

廃棄シューズ割合



2024年目標



4. サステナブルな企業へ

-サステナブルな素材や、売るだけじゃない循環型サービスの実現

□ **環境配慮素材の使用のさらなる推進**

素材や梱包材まで、環境にやさしい素材の使用を推進

□ **製造過程の見える化**

トレーサビリティで、「信頼」と「安心」という付加価値を

□ **売るだけでは終わらない循環型サービスの提供**

販売 → 手入れ・クリーニング → 修理 → 二次利用・リサイクルプラットフォーム

□ **レンタルサービスなど「売らない」サービスの提供**

持続可能な未来のために所有から共有へ、「1足の靴をみんなですべて最後まで使い切る」



5. 異業界への挑戦

-異業種への進出、他社との協業

□異業界への挑戦と協業

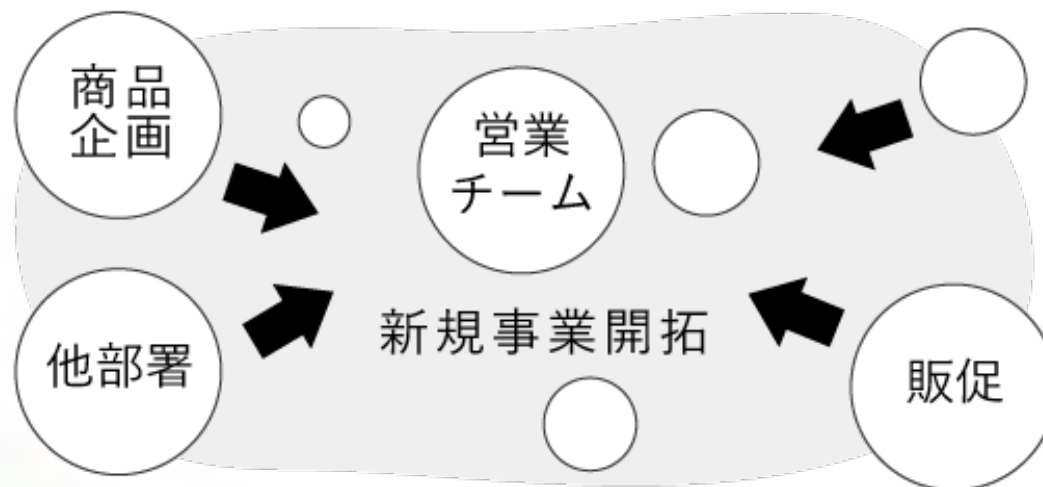
従来の靴業界への販売ではない業界への販路の拡大
他社との競合ではなく協業により新商品の開発の加速

□新規事業人材への投資

新規開拓に向けた情報収集、企画立案・提案力に関わるセミナーや勉強会を通じ知識やスキルの習得、
また他社交流の機会を増やし新たなビジネスチャンス拡大や事業連携の足掛かりへ

□新規事業のチーム力強化

新規事業チームと商品企画課など他部署メンバーとの交流を促進し、連携を深めて社内イノベーションを
起こしやすい企業風土へ



6. グローバル&インクルージョン

-社員の多様性を尊重した人材育成、チャレンジする企業風土

□ 社内のダイバーシティで顧客へのサービス向上につなげる

- ・ 自分を知り→他者を知り→違いを知り→個々の違いを力にする
- ・ 様々な価値観、考え方に触れることで刺激を受け、社内議論を活発化させる
- ・ 潜在ニーズへの「気づき」、多様な視点からの問題点チェック

□ 高齢者、若年者、女性、外国人、障がいのある人などあらゆる人材を取り入れる

- ・ 若年層や女性の役員登用

□ あらゆる人材がその能力を最大限に発揮でき、やりがいを感じられる環境作り

- ・ ワークスタイルを変革し、どこでも仕事に取り組めるシステム構築と制度運用
- ・ 介護休暇の導入、男性育児休暇取得の推進

□ チャレンジしやすい企業風土の構築

- ・ プラス評価制度の導入・スキルアップを支える人材育成

